

■テーマ 5, 6 年生 日本の衣食住を紹介しよう

■交流の様子



■交流内容

(1)あいさつ (流行しているゲーム・アニメ・歌手について)

(2)日本の衣・食・住について紹介 (北山校→リズモア校)

【①着物 (浴衣・袴・七五三・佐賀錦など) ②和菓子 (白玉饅頭・たい焼き・せんべい)

③冬のアイテム (こたつ・カイロ・湯たんぽ)】

(3)持ち物 (ランチボックス) の紹介 (リズモア校→北山校)

今年2度目のリズモア校との交流でした。今回のめあては、「コミュニケーション」を図ること。1回目の反省をもとに、原稿を読むのではなく、交流相手とアイコンタクトをして、相手の表情を見ながら交流することをめざしました。今回は6年生の外国語の教科書の“See the world”の学習を生かして、日本の衣食住について、3つのグループに分かれて発表しました。今回も、プレゼンテーションソフトで作成した資料を同じ画面の中に見せながら交流を行いました。

交流では、できる限り原稿を見ずに、相手の反応を見ながら、一文一文の間を空けて発表することができました。プレゼンテーションの写真が分かりやすかったようで、大きなリアクションをもらおうと嬉しそうな表情が見られました。また、ジェスチャーを用いることで、難しい文章で表現しなくても言いたいことが伝わるということを実感することができました。

■児童の感想

- ・今回の交流では、衣食住の衣を紹介するときに「smile」でできました。また、アイコンタクトもよくとれて、相手の話を聞くこともできました。とても楽しく交流することができました。(6年)
- ・(クイズで) リズモア校の人が佐賀錦の (バックの) 値段を当てて、20万円だったことにびっくりしていた。私が調べた時もびっくりしたが、新しいことを知ることができた。(6年)
- ・リズモアの人がたい焼きのクイズのときに一瞬で答えられたので、たい焼きの事を知っているのかな?と思いました。ちゃんと相手の反応を見て交流することができて良かったです。(6年)
- ・私は和食について説明したけど、説明中うなずいたり、グッド (とポーズを) してくれたり、クイズを考えてくれたりしたので、興味を持ってくれたんだと思って嬉しかったです。伝え方の工夫をしたので、やりがいがありました。(5年)